

第16回 自己PR作成講座

日時：2020年2月18日（火）14：45～16：15

場所：文学部B251講義室

対象：学部3年生・M1生を中心とした全学生

講師：加藤光枝氏（株式会社マイナビ）

第15回の講座に続いて、加藤さんに自己PRの作成について解説いただき、受講者は手順を踏んで実際に自己PRの作成に挑みました。加藤さんのお話で特に大事だと思ったのは、**企業の採用担当者は選考を受けに来た学生が「どんな人間なのか」を知りたいのだ**という点です。なぜなら、企業側にとって、どんな人間なのかが分かれば、適材適所、採用・不採用の判断ができるからです。企業側が判断できるだけの材料をこちらから提供できるよう、複数のPRパターンを持っておくといいでしょう。

自己PRのポイントは、伝えるべき自分の長所がそれを裏付ける経験と一致している内容かどうかとあります（実際、多くの学生さんが自己PRを考える過程でうまく繋げることが出来ていない点です）。つまり、結論に根拠が伴っていることが大切なのです。そのためには、**まず具体的な自身の経験をつかみ出し、そこから自分の長所を帰納していく**ことが肝心だそうです。今回は、そうした手順を身につけるため、「**経験の棚卸しシート**」と「**自己PR作成シート**」が用意され、受講者はこの2つのシートに記入しながら自己PRの作成に取り組みました。

まず、の内容から紹介してみましょう。このシートの記入欄は5つのステップに分かれており、順を追って書き入れていきます。

【Step1】 貴方の印象に残っている経験のタイトルをひとつ書いて下さい（例：アルバイト、サークル、受験勉強など）。手を抜かずに取り組んだこと、うまくいかなかったけどやり遂げたことなどでもOK。

【Step2】 その経験のなかで、**貴方は何をしましたか？貴方の行動や役割**を書いて下さい（例：売上に少しでも貢献できるよう工夫した、後輩のまとめ役として頑張ったなど）

【Step3】 ①**なぜ**そうしたのですか？（例：任された期待に応えたい、チームワークを高めたいなど）/②**どのように**したのですか（例：曜日と時間の売上傾向を分析した、それぞれの性格に合う言葉を選んだなど）

【Step4】 ①**そんな理由で動く人はどんな人**ですか？（例：責任感がある、チームワークを重視するなど）/②この方法を使う人は何が得意な人ですか？（例：分析することが得意な人、人間観察が得意など）

【Step5】 Step4で見つけた貴方の「特徴」は他の経験にも現れていませんか？キーワードと他の経験をつないでみましょう（例：責任感がある→実行委員会でも……、チームワーク重視→インターンシップ先でも……、分析が得意→授業でも……、人間観察が得意→旅行先でも……などなど）

【Step3】 は、貴方らしさが見えてくる段階で重要なポイントです。具体的に書きましょう。

以上の「経験の棚卸しシート」を踏まえて、次に「**自己PRシート**」を記入していきます。こちらは4つのステップに分かれています。

【Step1】 自分の得意なことや特徴を簡単にまとめましょう。「経験の棚卸しシート」のStep4から「**どんな人**ですか」を選べば特徴、「**何が得意**な人ですか」を選べば能力のPRに近づかずです。

【Step2】 なぜ、そう言えるのか、根拠を簡潔に示しましょう。「経験の棚卸しシート」のStep1とStep2を使って、「それは～で～したことにも現れています」とまとめます。

【Step3】 Step1とStep2で書いたことを読み手に納得させるため、「経験の棚卸しシート」のStep3に書いた「**なぜ**」と「**どのように**」を具体的に、詳しく書いてみましょう。

【Step4】 Step3で書いた行動の結果はどうなったかを書きましょう。もし、数字で示せるようであれば具体的な数字も書いて下さい。

以上のステップをふめば、自己PRの「下書き」が仕上がります。これをベースにして、もっと自分が伝わる書き方、他のPRの仕方を工夫して改善していくわけです。「**具体性**」と「**客観性**」を盛り込んだ内容で、「**差別化**」を図ることが重要です。

最近の傾向として、面接では学業について聞かれることが多いそうです。まずは、800～1000字程度で、細かく具体的に自己PR文章の「下書き」を作り、推敲を重ねて、400字程度の文章に仕上げていくといいでしょう。また、書いた自己PRの文章を他の人に見てもらうのも大切なステップです。

【受講生の感想】

- ・自己PRを一から組み立てることで、改めて自分を知ることが出来た。
- ・具体的な掘り下げ方、書き方を学べてPRを書く目安が出来た。
- ・自分で考えていた自己PRをブラッシュアップするためのポイントがわかりやすかった
- ・実際に文章を書く時間があったり、アドバイスを直接もらえたりして、ありがたかった。

【参加者】 13名

学生：12名

教職員：1名

